

うわまちStyle

～放射線科～



2023.1

診療放射線科・高精度放射線治療センター発行
発行責任者：岩澤孝昌
(副病院長兼医療連携室責任者)

謹んで新年のお喜びを申し上げます。

旧年中は大変お世話になり、放射線科一同心より御礼申し上げます。本年も、更なる放射線検査の向上に努めて参りますので、より一層のご支援とお引立てを賜りますようお願い申し上げます。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

放射線科医師の紹介

私は、2010年に慶應義塾大学医学部を卒業し、初期研修を経たのち、慶應義塾大学病院やその関連施設にて放射線診断学を学びました。大学では主に脳神経領域を中心として診療を行ってきました。その後、2020年7月より横須賀市立うわまち病院放射線科にて勤務させて頂いております。近年の放射線診断では機器、検査法、診断とも発展が著しく、我々も日々勉強が必要であると感じております。これまで学んだ知識を元に、地域医療のお役に立てれば幸いです。



南 康大 放射線科科長

ご予約・お問い合わせは 地域医療連携室まで

放射線科HP



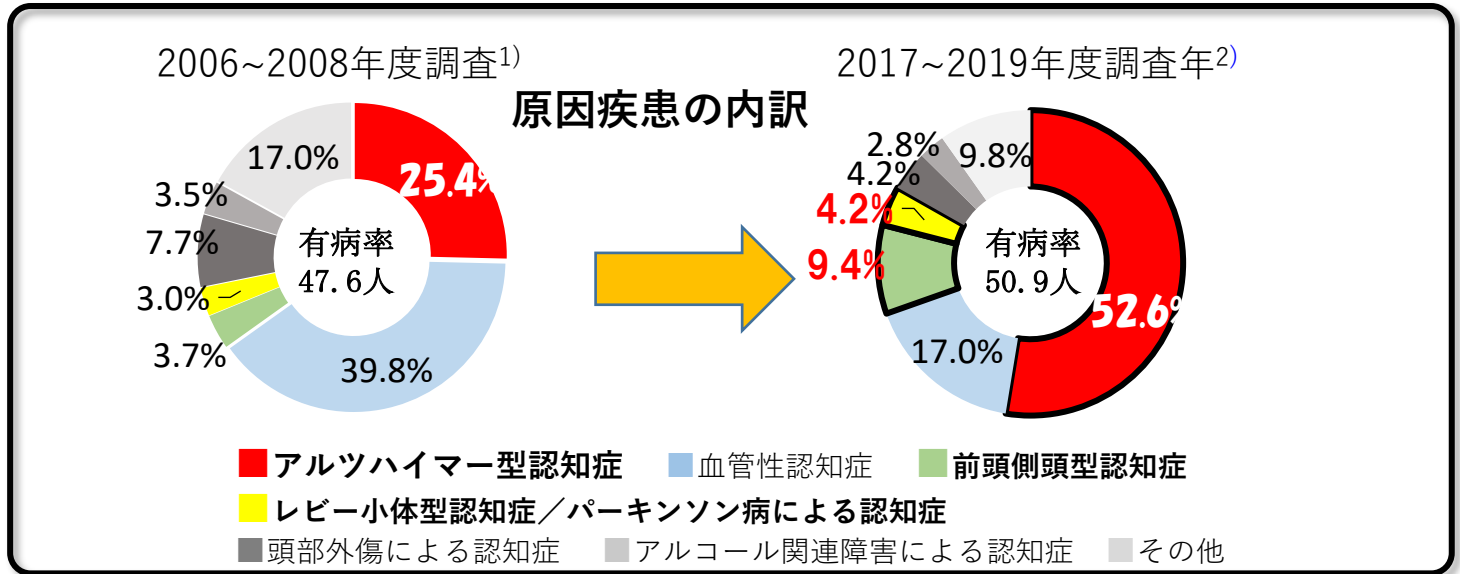
CT・MRI検査など緊急の場合は、電話にてご相談ください。
個別に対応させて頂きます。お気軽にお問い合わせください。

連絡
受付時間

平日8:30～19:00・土曜8:30～12:30
直通FAXは24時間対応可能

若年性認知症の有病率*が増えています

AMED（国立研究開発法人 日本医療研究開発機構）によると2006~2008年度の調査報告より2017~2019年度におけるAMEDの調査報告の方が有病率が増加しています。また、原因疾患はアルツハイマー型認知症、前頭側頭型認知症、レビー小体型認知症／パーキンソン病による認知症の割合が増加しています。



* 有病率：18～64歳人口10万人あたりの患者数

1) 厚生労働省, 若年性認知症の実態等に関する調査結果の概要及び厚生労働省の若年性認知症対策について, 2009.

<https://www.mhlw.go.jp/houdou/2009/03/h0319-2.html>

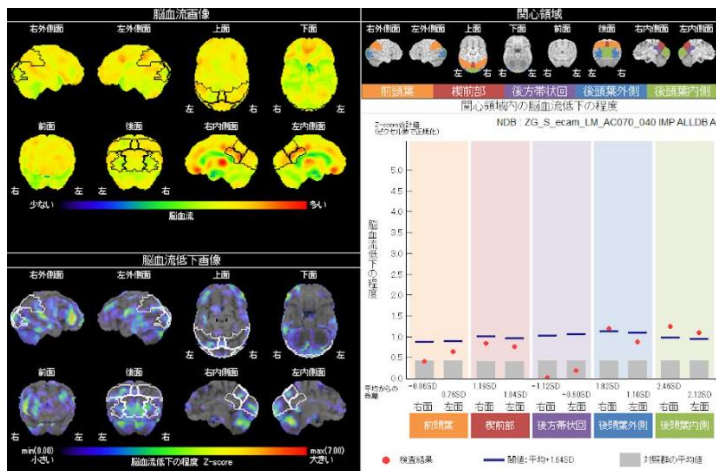
2) 地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター, わが国の若年性認知症の有病率と有病者数 (AMED研究) 2020.

https://www.tmgig.jp/research/release/cms_upload/20200727.pdf

若年性認知症診断には脳血流SPECT検査をご検討ください

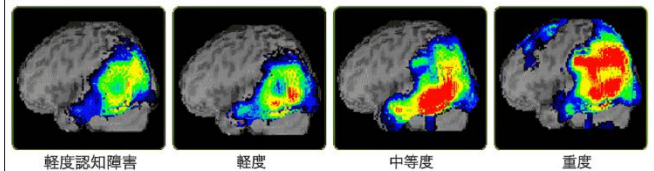
仕事や育児などの働き盛りの壮年期に発症する「若年性認知症」により惹起される社会的損失が着目され、支援体制を求める声が高まっており、早期に適切に診断することが求められています。SPECTなどの脳機能画像検査は、認知症診断に有用とされています。また画像統計学解析ソフトを用いることで、各患者の脳血流データを健常者のデータベースと比較して、低下の程度をZスコア表示した画像は、脳血流SPECTの読影に役立つ情報となっております。

前述した、割合が増加している原因疾患は画像統計学解析ソフトが得意な分野とされています。



アルツハイマー型認知症の場合

脳の血流が低下している部分を映したもの(画像統計解析)



“撮って診る認知症 genki55.net”より

<https://genki55.net>

提供：PDRファーマ株式会社

読影精度を上げるために、CTやMRIなど形態評価のできる検査を行っていない場合は併せてお願い致します。



解析画像の一例 (ISSP G-graph)

提供：日本メジフィジクス株式会社